

事業所における自己評価総括表

○事業所名	氷見市障害者福祉センター我家		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 21 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 21 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 28 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・入浴サービスの提供(月曜日・水曜日)	・入浴サービスを通して、介護者の介護負担の軽減を図る事は勿論の事、利用児童のご兄弟とゆっくり入浴できる時間を設ける事で、兄弟支援もと考えている。 ・利用児童一人ひとりの身体的な状況や成長に応じて、安全に快適に入浴して頂けるよう配慮している。	・現在、2回/週の入浴サービスを行っているが、保護者の方々からは、もう1日(金曜日)も入浴サービスを提供してもらえたらという声を頂いている為、人員や体制等について検討を行う。
2	・自事業所内で作る食事の提供	・毎日、2名の調理員が時間差で勤務し、地元の食材や富山県産のお米を使用して、昼食を提供している。検食は毎日3名体制で行い、味や食材の固さ等を検査し、調理員に伝え、利用児童一人ひとりに合った形態での提供を行っている。	・全ての曜日に、お肉がメインの日とお魚がメインの日、デザートがつく日、手作りおやつの日等献立の立案にも配慮している。献立は、毎月、栄養士に見ていただき、内容についてアドバイスを頂き、立案に生かすように取り組んでいる。
3	・サービスの質の向上を図る為の研修の開催	・毎月、最終週の火曜日の終業時間から遅い時は夜9時近くまで、利用児童の状況についての報告やよりよいサービス提供に向けての検討会の開催、研修等を行っている。年間計画に沿って毎月研修を開催していますが、定期的研修以外にも外部研修への参加や法人内での研修にも参加し、全てのスタッフが統一して質の高いサービスを提供できる様に取り組んでいる。	・ヒヤリハット報告、事故報告等の記入・提出を積極的に行うとともに、全てのスタッフが回覧する中で、自分の思いや考えを記入する欄を設け、他人事ではなく、自分事として捉える事で、より安全に、快適なサービスの提供に向けて努力しています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられていない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	・保護者同士が交流できる機会が、現在、どの程度行われていて、どの様な思いを持っておられるかをまず、知る必要がある為、現在の保護者の方々の思いを把握する。 ・兄弟支援としては、今年度より毎月開所日を設けて、利用児童のご兄弟とお父さん、お母さんがゆっくり関われる時間を持ってもらえるようにとスタートした。	・父母の会の活動を支援する際、実施日時についての要望等をアンケート調査等で把握し、実施に向けて調整する。 ・利用児童兄弟で、利用児童と一緒に利用したいかどうかのニーズ調査を行い、開所日を自由来館可能日とする等の検討を行う。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が持てていない。	・感染の問題等もあり、これまで実施出来ていなかった。 ・時期や気候等も考慮し、感染にも留意しながら少人数での交流から考えていきたい。	・氷見市児童館との交流や他の放課後等デイサービスとの交流などを検討・調整を行う。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	・これまで、利用児童の状況や利用時の様子等は情報提供・情報共有出来ていたが、ご家族の思いや希望についてをしっかりと伺い、把握することが出来ていなかった。 ・サービスを提供させて頂く中で、利用児童の課題と思われる事柄について、事業所内ではその都度話し合いや検討の場を持っていたが、ご家族との検討の場は持てていなかった。	・年に数回、利用児童家族とスタッフが一緒に学べる研修会の開催について検討する。(毎回、テーマを設定し、内容に応じた講師等を招いての研修会の開催)